

令和 7 年度 総合計画中間見直し 地域懇談会実施報告書

令和 7 年 1 2 月
企画部秘書政策課

1. 開催概要

○開催日程

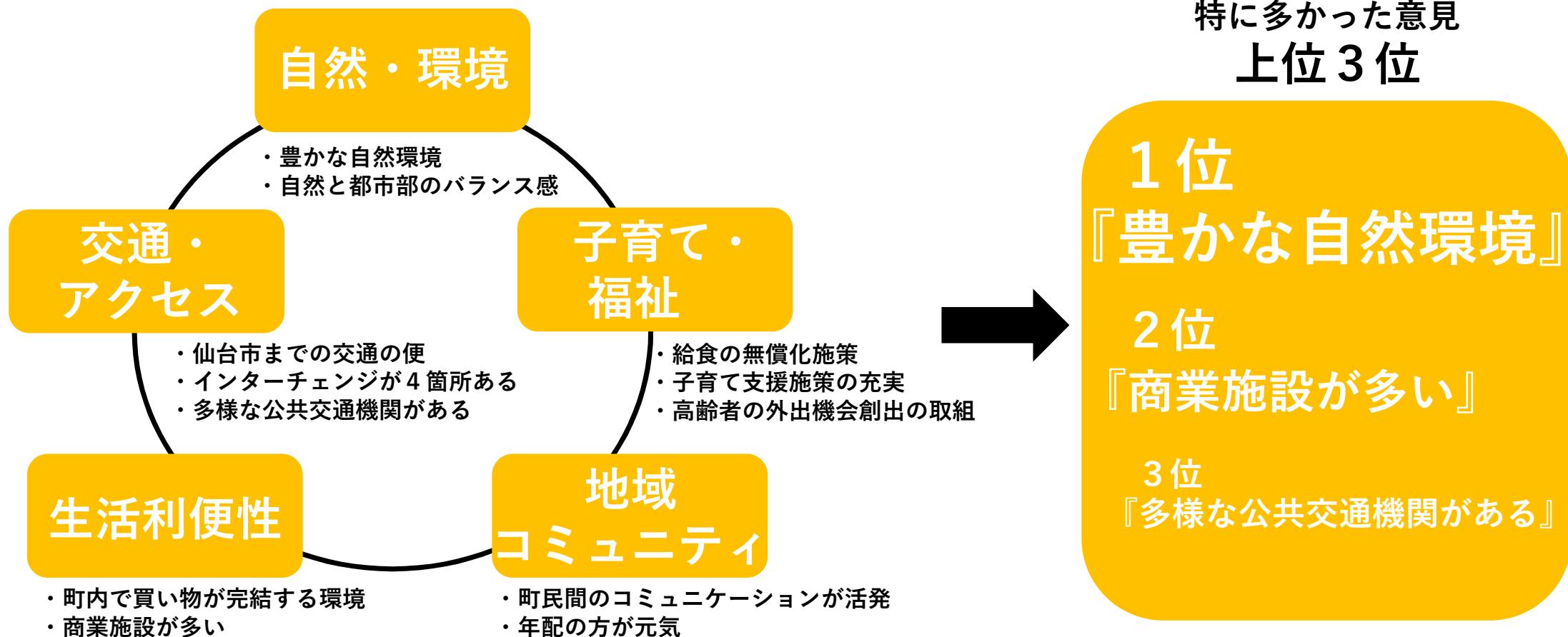
| 開催日時 | 場所 | 対象地区 | 参加者数 |
|---------------|-----------------|--|------|
| 10月20日 (月) | リフノス 多目的ホール | 沢乙、加瀬、野中一部、野中二部、町加瀬、大町、東町、館、 仲町、藤田、春日二部、新中道 | 14人 |
| 10月30日 (木) | 総合体育館 サブアリーナ | 神谷沢、菅谷一部、菅谷二部、菅谷台 | 18人 |
| 11月11日 (火) | 赤沼公民館 | 春日一部、赤沼、浜田、須賀、葉山 | 20人 |
| 11月14日 (金) | 総合体育館 サブアリーナ | しらかし台、青山、青葉台、花園、皆の丘 | 10人 |
| 11月17日 (月) | リフノス 多目的ホール | 全地区 | 10人 |
| 合 計 | | | 72人 |

○地域懇談会の内容

- (1) 事務局説明：これまでのまちづくりについて
- (2) ワークショップ：これからの中道町に必要なこと

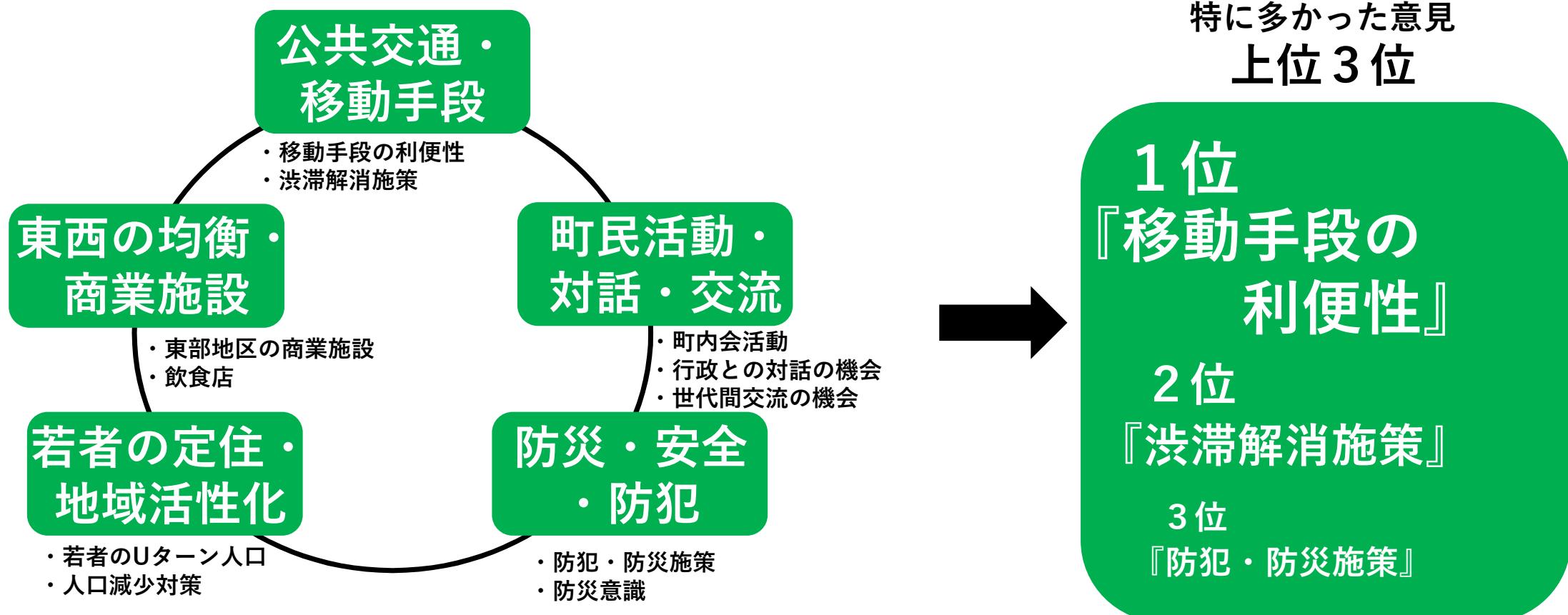
2. ワークショップで出た意見

○参加者の感じている利府町の《良いところ》



2. ワークショップで出た意見

○参加者の感じている利府町の《足りないところ》



2. ワークショップで出た意見

○《優先度、実現性ともに高い》 参加者が考えた足りないところへの対策

公共交通の利便性

- ・バス路線の見直し、本数の増加
- ・mobiの利便性向上（積極的な周知活動、説明会の開催）
- ・高齢者向け移動支援の強化

既存資源の活用

- ・既存施設（グランディー、リフノス等）の有効活用
- ・グランディー北門の常時開放（渋滞対策）
- ・中央児童センター隣地の有効活用

行政情報等の認知

- ・SNSによる町民団体、NPO活動の発信
- ・LINE講習の認知拡大（公式LINE登録者数の増加）
- ・ホームページの改善（使いやすく、わかりやすく）

住民対話の仕組み

- ・行政、議会、町内会の十分な対話体制の構築
- ・住民の声を取り入れるための定期的な意見交換

安全な生活環境

- ・防犯設備の整備
- ・熊対策

2. ワークショップで出た意見

○《優先度は高いが実現性が低い》 参加者が考えた足りないところへの対策

地域防災の体制

- ・地域防災力の強化、自助や共助の仕組み化
- ・防災無線の改善（聞き取りやすく）

雇用の創出

- ・大企業の誘致
- ・東部地区の開発

交通空白地帯への取組

- ・タクシーの台数増加

宅地・住宅の供給

- ・東部地区の開発
- ・アパートやマンションの整備

町内会組織の現代化

- ・形式的な活動から実質的活動への転換
- ・新旧住民の統合

2. ワークショップで出た意見

○《優先度は低いが実現性が高い》 参加者が考えた足りないところへの対策

空き家活用の取組

- ・既存ストックを活用した低成本な移住促進

馬の背周辺の観光振興

- ・工夫を凝らした低成本な地域資源の有効活用

高齢者への対応

- ・高齢者シェアハウス、交流ステーションの整備
- ・既存施設を活用した低成本な環境整備



3. 傾向

○世代間の課題意識

高齢者

移動手段・交流機会 の課題



- ・公共交通の充実
- ・交流ステーション
- ・近所付き合い

子育て世代

安全・教育・利便性 の課題



- ・公園の整備
- ・防犯対策の充実
- ・文化活動の充実
- ・英語教育の充実

若年層・転入者

雇用・住宅・活気 の課題



- ・企業誘致
- ・安価な住宅の整備
- ・イベントの充実

○まとめ

既存資源を活用した公共交通の充実、行政情報の積極的な発信、地域との対話、東部地区のまちづくりのあり方など、中長期的な取り組みを求める意見をいただきました。